

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（令和4年度採択）

中間評価結果（公表用／ソフト分野）

番号	研究名	研究代表者	評価
2022-2	権利と効率のストック効果に基づく社会的意思決定方法と実用的なストック効果計測手法の開発	神戸大学大学院 教授 小池 淳司	B
<p><研究の概要></p> <p>権利と効率のストック効果に基づく道路事業の社会的意思決定方法および道路事業が有する多面的な機能の評価のための実用的なストック効果計測手法の開発を行う。</p> <p><中間評価結果></p> <ol style="list-style-type: none">非常に時宜を得た重要な研究課題に意欲的に取り組んでいること、本省・地方整備局と協議し具体的なテーマに絞って分析を行っていることは、評価できる。最終年度である来年度の研究方法・到達目標について、「特記事項」の指摘を踏まえて具体化し、できるだけ実用的な成果をとりまとめていただきたい。 <p><指摘事項></p> <ol style="list-style-type: none">最終年度である来年度の目標に掲げた「権利と効率のストック効果に関する社会的意思決定方法の確立に向けて、短期的、長期的な戦略を明確にする」ため、個別テーマに加えて、研究課題の全体像を体系的に整理していただきたい。その際、例えば、以下について明らかにしていただきたい。<ul style="list-style-type: none">「事業の社会的意思決定」と「ストック効果の予測・予定」の関係性。後者の計測結果を示した上で、意思決定するのではないか。「効率のストック効果×予測」における「事業特性別の支払意思額の推計」の位置付け。「権利のストック効果×予測」の枠組み、「医療サービス」の位置付け。医療機関へのアクセス時間の分析における新規性は何か。他国の事例や実務への活用方法を重視して整理していただきたい。経費の積算精度が必ずしも高いとは言えず、効果的・効率的な研究遂行・費用削減に努めていただきたい。			

※本中間評価は、新道路技術会議の各委員が評価を行い、第47回新道路技術会議において審議したものである。